

## 平成 29 年度 岩手医科大学・岩手看護短期大学合同入学式



医・歯・薬・看護の4学部が揃った初めての入学式(写真部撮影、関連記事P7)

特集

# 看護学部開設

～本学創立の原点へ～

岩手医科大学  
医学部  
歯学部  
薬学部  
看護学部

平成 29 年 4 月 1 日、岩手医科大学は看護学部を開設しました。創立 120 周年の節目を迎える本学は、医・歯・薬・看護の医療系 4 学部が同一キャンパスで共に学ぶ日本で唯一の大学となりました。本学の創立者三田俊次郎先生は、この岩手で 120 年も前に、医師だけではなく助産師や看護師など医療人の育成を始めています。看護学部の開設はまさに、本学創立の原点への回帰であり、創立者が時代に先駆けて喝破した「チーム医療の概念」を医療教育の場から実践することになります。

このような理念のもと本学は、待望の看護学部第 1 期生を迎え入れました。今号では、看護学部ガイダンスの様子や学生へのインタビュー、教員からのメッセージをご紹介します。

## 看護学部ガイダンス

4 月 7 日 (金)、看護学部ガイダンスが矢巾キャンパスで行われました。当日は、午前中に教員紹介、嶋森看護学部長の挨拶、カリキュラムや学生生活、クラス制度の説明があり、昼食を兼ねたクラスミーティング、キャリア支援講演会が行われた後、午後のガイダンスが始まりました。午後のガイダンスでは、事務員の紹介、シラバス・Web Class の利用について説明があり、最後に実習で使用するユニフォーム投票が行われ、最多投票があったユニフォームが選ばれました。



教員紹介



嶋森看護学部長挨拶



選ばれたユニフォーム

## 実習室、講義室の紹介

看護学部の設置にあたり、実習室および講義室を矢巾キャンパスマルチメディア教育研究棟の一部を改修し整備しました。基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、在宅・地域看護学など各専門分野の演習科目が行われる実習室を同棟 2～3 階に、講義室を 4 階に整備しました。



2-A 実習室 (基礎看護学)  
2-B 実習室 (成人・老年看護学)



3-B 実習室 (地域・精神看護学)



4-A 講義室

## 学生へのインタビュー

- 1 名前 2 出身校 3 趣味 4 本学の第一印象 5 大学でやりたいこと  
6 将来の夢・意気込みをスケッチブックに記載



- ヤマダ ひなの  
1 山田 ひなの  
2 岩手県立花巻北高等学校  
3 おいしい物を食べること  
4 ガラス張り！トイレが綺麗！  
5 地域の方々との活動



- タカハラ フミカ  
1 高原 史佳  
2 盛岡白百合学園高等学校  
3 体を動かすこと  
4 校舎がとても綺麗  
5 サークル活動で他学部や他学年の方々と交流すること



- トチナイ アヤノ  
1 棚内 彩乃  
2 仙台育英学園高等学校  
3 体を動かすこと  
4 キャンパスがすごく綺麗で、  
医・歯・薬・看の4学部が  
一緒に学べる大学  
5 サークル



- キムラ モトキ  
1 木村 基毅  
2 一関学院高等学校  
3 ランニング、ゲーム  
4 大学が綺麗で立派  
5 サークル

## 教員からのメッセージ



共通基盤看護学講座 特任教授 秋山 智弥

看護学部第1期生の皆さん、入学おめでとうございます！皆さんが歩みだした看護師への道のり、はやる気持ち、あせる気持ち、様々でしょうが、困ったときは大いに助けを求めてください。そうして今度はあなたが誰かを助ける番に！どんな経験も必ず糧となり、人を助け、未来を拓く力になっていきます。何を大切に、何に時間をかけるか、この4年間で試行錯誤し、自らの生き方、学び方を身につけていって下さい。頂上は一つ、道は無数です。ともに頑張りましょう！



共通基盤看護学講座 講師 柏木 ゆきえ

学生が初めに学んでいくのが、私が担当している「基礎看護学」になります。基礎看護は、看護を实践するうえで必要な概念、実践するための基本的な方法論であり、看護を学ぶための基礎を構築する分野です。学生が専門的知識をもって、根拠に基づく看護実践ができるように、土台づくりをしていきたいと思ひます。また、学生がもつ最初の看護への関心を大切に、看護の面白さを伝えていけるようにしたいと思ひます。それが看護を学び、自ら探求しようとする動機づけになると考えています。



共通基盤看護学講座 特任講師 小松 恵

創立120周年を迎える岩手医科大学の記念すべき年に看護学部が開学し、第1期生を教員として迎えることができたことに、喜びと同じくらいの責任も感じています。将来、命を支える専門職として、人を看ることのできる理論と実践の土台を築けるような関わりをしていきたいと思ひます。この職業の魅力や可能性を講義や実習の中で伝えていけるよう努めて参ります。よろしくお願ひします。

## 取材を終えて

学生に取材をしたのは登校日3日目でした。疲労が出てくる頃にも関わらず、明るく接してくれたことが印象的でした。看護学部第1期生として期待と不安が大きいと思ひますが、この取材を通して頼もしい学生を迎えることができたと感じました。これからの成長を見守り、大学報でもみなさんにお伝えしていきたいと思ひます。

(大学報編集委員会事務局)

## 創立120周年記念イベント「健康フェス2017」

# 企画募集

昨年、一昨年と合わせて約3,000名を超える皆様にご来場いただき、大盛会のうちに幕を閉じた創立120周年記念イベント「健康フェス」を今年も開催することといたしました。この記念イベントは健康をテーマに本学が有する「医の力」、「知の力」を積極的に発信し、県民の健康増進を図るとともに、地域とのつながりを深める全学的なイベントです。3回目を迎える今年は、これまでに来場者からいただいた貴重なご意見をブラッシュアップするとともに、新規企画を取り入れながらより充実したイベントを開催できるよう準備を進めてまいります。

そこで、教職員、学生の皆様からも、「健康」をテーマとした、企画・アイデアを募集いたします。

本年も教職員並びに関係各位の一層のご支援、ご協力の程宜しくお願いいたします。

- |               |                              |   |   |
|---------------|------------------------------|---|---|
| ■ <b>開催日程</b> | 平成29年9月9日(土)<br>9:30 ~ 16:30 | ■ <b>選考方法</b>   | 創立120周年記念事業小委員会にて<br>企画内容や趣旨を検討します。         |
| ■ <b>会場</b>   | 矢巾キャンパス                      | ■ <b>お問合せ</b>   | メール又はお電話でお寄せください<br>創立120周年記念事業事務局(内線 7022) |
| ■ <b>テーマ</b>  | 「いきいき 元気 健康家族」               | E-mail : <a href="mailto:anniv@j.iwate-med.ac.jp">anniv@j.iwate-med.ac.jp</a> |   |
| ■ <b>募集期間</b> | 平成29年5月31日まで                 |   |   |

### 昨年実施内容(参考)

- |  |                                      |
|--|--------------------------------------|
| ● <b>公開講座</b><br>各学部、教養教育センター等の教員による一般市民向けの講座      | ● <b>図書館開放</b><br>健康関連図書展示、Library+等 |
| ● <b>体験講座</b><br>心筋梗塞の早期対応・心肺蘇生法、保育指導、手洗いの大切さ      | ● <b>ステージイベント</b> 学生会等               |
| ● <b>ヘルスチェック</b><br>体組成、血圧、血管年齢、骨密度、肺年齢、口腔内環境、体力測定 | ● <b>松ぼっくりアイス販売</b> 学生有志             |
| ● <b>健康相談</b><br>全般、おくすり、妊産婦、乳がん啓発等                | ● <b>スタンプラリー、キッズコーナー</b>             |
| ● <b>体験</b><br>認知症予防体操、ヨガ、歯科材料、ヘルシーメニュー試食、放射線量測定等  | ● <b>学食開放</b><br>オリジナルヘルシーメニュー提供     |
| ● <b>ドクターヘリ基地見学、薬用植物園見学</b>                        | ● <b>地元産直販売</b><br>矢巾町の農産物、六次産業品等    |
| ● <b>歴史紹介、学術展示、おしごと紹介、進学相談</b>                     | ● <b>太極拳・カンフー</b>                    |
|  | ● <b>協賛企業企画</b><br>もちまき、企業製品紹介等      |



ヘルスチェックコーナー



ヨガ体験



おくすり教室



栄養相談・試食コーナー



救命救急・AED講習会



ドクターヘリ基地見学

創立120周年記念事業の更なる広報展開を図るべく新たに名刺テンプレートを制作しました。デザインは2種類ありますので、お好みのデザインをお選びの上、是非この機会にご活用ください。データは記念事業特設サイト (<http://iwate-med-120th.jp/public-relations/business-card/>) からダウンロードできます。



## 岩手医科大学募金状況報告

### 【創立120周年記念事業募金】

岩手医科大学創立120周年記念事業募金に対し、特段のご理解とご支援を賜りました皆様方お一人おひとりに、厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後とも格別なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今回は第15回目の御芳名紹介です。(平成29年1月1日～平成29年2月28日)

※御芳名及び寄付金額は、広報を希望されない方は掲載しておりません。

#### ●法人・団体等 (6件)

- <12,386,000> 岩手医科大学同窓会 圭陵会会員一同
  - <300,000> 医療法人社団 藤井内科医院 (北海道浦河郡)
  - <御芳名のみ掲載> 共立医科器械 株式会社 (岩手県盛岡市)
  - 株式会社 ケア・テック (岩手県盛岡市)
  - 医療法人 希星園 星内科小児科医院 (宮城県仙台市)
  - 医療法人社団 雪嶺会 河合胃腸科クリニック (岐阜県羽島市)
- (順不同、敬称略)

#### ●個人 (30件)

- <1,000,000>
 

阿部 正隆 (名誉教授)	志賀 清人 (教職員)	菊池 正幸 (教職員)
富田 幸雄 (医24)	漆久保 光明 (父母)	中山 貢一 (元職員)
島田 克己 (医23)	齋藤 政孝 (医24)	天野 一之 (医26)
工藤 博司 (医12)	佐藤 直紀 (父母)	天野 昌子 (歯10)
- <300,000>
 

根本 康 (医5)	天野 沙希子 (歯45)
松井 美紀夫 (医26)	吉岡 一典 (医17)
- <200,000>
 

佐藤 雅夫 (医23)	村井 順子 (元職員)
-------------	-------------
- <100,000>
 

宮川 朋久 (医33)	米谷 則美 (医30)
-------------	-------------

(順不同、敬称略)

- 吉田 雄樹 (医35)
- 印南 幸子 (一般)
- <50,000>
 

西谷 巖 (名誉教授)
-------------
- <御芳名のみ掲載>
 

後藤 康文 (役員)
菅原 光孝 (歯16)
高橋 明美 (父母)

区分	申込件数	寄付金額 (円)
圭陵会	530	383,425,089
在学生ご父母	381	207,530,000
役員・名誉教授	55	59,010,000
教職員	117	19,357,000
一般	44	23,710,000
法人・団体	147	555,967,000
<b>合計</b>	<b>1,274</b>	<b>1,248,999,089</b>

(平成29年2月28日現在)

## 名誉教授称号授与式が行われました

4月1日(土)、創立60周年記念館10階会議室において、名誉教授称号授与式が行われました。式では、小川理事長が名誉教授の称号を授与し、これまでの大学への貢献に対して感謝の言葉を送りました。



### 後列左より

佐藤医学部長、小林副学長、  
三浦副学長、酒井副学長

### 前列左より

久保川学名誉教授、千田勝一名誉教授、  
小川理事長、祖父江学長、  
杉山芳樹名誉教授、武田泰典名誉教授

## 平成29年度新入職員辞令交付式が行われました

4月1日(土)、歯学部4階講堂において、平成29年度新入職員辞令交付式が行われ、196名が岩手医科大学の一員となりました。

式では、新入職員の呼名の後、新入職員を代表して皮膚科学講座助教の荒川伸之さん(写真)が辞令交付を受けました。その後、小川理事長の式辞に続いて、東病棟7階看護師の立花夏季さんが誓詞を述べ、本学での活躍を誓いました。



## 3学部合同学生セミナーが行われました

4月8日(土)、矢巾キャンパスにおいて、3学部合同学生セミナーが開催されました。

今年で6回目の開催となるこのセミナーは、今回から6学年全員が対象の必修科目となり、専門職連携教育の一環として、5学年までに修得した医学・歯学・薬学の専門知識と経験をもとに、3学部の学生が症例をPBL(問題基盤型学習)形式で検討するものです。

当日は、事前に提示された症例について、学部間で意見交換を行い、患者への治療方針説明を共同でまとめました。専門的知識を修得した学生が患者の立場に立ち、他学部の学生とともに症例検討をすることで、患者に対する多角的な見方と専門職連携の重要性について理解を深めました。



## 平成29年度入学式が行われました

4月10日(月)、岩手県民会館において、岩手医科大学・岩手看護短期大学の合同入学式が行われました。岩手医科大学では、大学院医学研究科博士課程36名・修士課程7名、歯学研究科博士課程4名、薬学研究科博士課程2名、医学部123名・3年次編入7名、歯学部42名・2年次編入3名、薬学部104名、そして今年度開設した看護学部は95名の入学生を、岩手看護短期大学では、専攻科地域看護学専攻24名、助産学専攻15名の入学生を迎えました。

また、岩手医科大学医療専門学校の入学式は、4月7日(金)に歯学部4階講堂で行われ、歯科技工学科8名、歯科衛生学科39名の入学生を迎えました。



岩手医科大学・岩手看護短期大学



岩手医科大学医療専門学校

## 定年退職を迎えられた教職員の皆様、長い間お疲れ様でした

本年3月31日付で定年を迎えられた皆様には、長い間岩手医科大学発展のためにご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。皆様の今後のご健勝を祈念いたします。



- |     |        |        |        |        |        |        |         |        |        |        |
|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 6列目 | 千葉 幸男  | 佐藤 隆   | 長岡 宏明  | 菊池 正幸  | 田代 敦   | 松村 豊   | 細野 友治   |        |        |        |
| 5列目 | 永田 美智代 | 戸田 良子  | 大森 ハツエ | 高橋 兼光  | 橘 修二   | 後藤 健治  | 佐々木 さき子 | 新津 ひさえ | 高柳 賢治  | 船越 真理子 |
| 4列目 | 高橋 明美  | 下河原 利恵 | 吉田 裕見子 | 北村 陽子  | 下村 千賀子 | 村野井 博子 | 小山田 幸子  | 兼平 せつ  | 佐藤 智子  |        |
| 3列目 | 高橋 成子  | 高橋 あつ子 | 帷子 康子  | 築場 悦子  | 齊藤 るり子 | 阿部 晶子  | 門坂 千代   | 工藤 裕子  | 浅沼 五月  | 岩淵 玲子  |
| 2列目 | 世良 耕一郎 | 田中 光郎  | 杉山 芳樹  | 大石 千枝子 | 川崎 明美  | 小井田 幸子 | 石田 陽治   | 山内 広平  | 久保川 学  |        |
| 1列目 | 武田 泰典  | 吉田事務局長 | 名取薬学部長 | 三浦副学長  | 小川理事長  | 祖父江学長  | 酒井副学長   | 佐藤医学部長 | 三浦看護部長 | 千田 勝一  |

# シリーズ 職場めぐり

## 麻酔学講座

当講座は1958年に開講し、現在は鈴木健二教授を筆頭に計24名の医局員で構成しております。診療内容は麻酔管理の他、ペインクリニック、集中治療より成ります。当院における手術件数は年々増加の一途を辿り、2016年は9246例が施行されました。この内6601例を当講座で管理しております。他、県内外の15の関連病院にも医師を派遣し、麻酔管理を行っております。

ペインクリニックでは外来および入院患者様の疼痛・緩和医療を担当しております。投薬に加えて硬膜外ブロックや星状神経節ブロック、X線透視を用いた各種神経ブロックを幅広く行っております。

集中治療は主に救急医学講座にお任せしている状況ですが、形成外科や頭頸部外科の術後人工呼吸管理等、一部当科管理をしている症例もあります。

専門分野の特性上、急性期重症患者の診療にあたる場面が多いため、細心の注意を払った医療の提供がで

きるよう医局員一同、日々研鑽を続けて参りたい所存であります。

(講師 脇本 将寛)



## 精神神経科外来

精神神経科外来は、大塚教授ほか医師12名、看護師3名、クラーク2名で診療を行っております。特定機能病院の精神科として、身体疾患合併症患者や修正型電気けいれん療法、クロザピン内服治療などの患者様を受け入れています。また、自殺未遂者の自殺企図再発防止に向けた事業において、未遂者の抱える精神疾患や心理社会的状況を踏まえて、傾聴し危機的介入に努めています。

近年、精神科医療は入院医療から地域生活中心の外来医療へと移行が進められており外来での医療・看護の重要性を認識し、患者様が住み慣れた地域で生活を継続できるよう関わっています。当科は、医師、看護師の他に精神保健福祉士、臨床心理士、保健所、市役所など多職種によるチーム医療で、患者様の日常生活全般に対する支援や対人関係問題への支援が行われるため、情報共有できるよう連携強化に努めています。

私たちは、患者様の精神的苦痛を受け止め、患者様の人格を尊重し思いやりを持って看護していきたいと思えます。

(主任看護師 渡辺 晴子)



## 大学報原稿募集

岩手医科大学報は、教職員皆様のコミュニケーションの場として発行を重ねていますが、さらなる教職員同士の“活潑な意見交換の場”として原稿を募集しています。

岩手医科大学に対する意見や提言、日々の業務で感じること、サークル紹介、学報への感想など、様々な内容をお寄せください。(表紙写真も募集しています)

また、特集してほしいテーマや、各コーナー(「表彰の栄誉」「トピックス」「教職員レター」など)への掲載依頼などもお待ちしております。事務局までご連絡ください。

連絡先

大学報事務局(企画部企画調整課)  
内線 7022  
kikaku@j.iwate-med.ac.jp

### 1. 役職者の選任について

全学教育推進機構長 佐藤 洋一 (再任)  
 教養教育センター長 松政 正俊 (再任)  
 看護学部副学部長 末安 民生 (新任)  
 学生副部長 末安 民生 (新任)  
 循環器医療センター長 森野 禎浩 (新任)  
 PET・リニアック先端医療センター長 中村 隆二 (再任)  
 薬学部附属薬用植物園園長 藤井 勲 (再任)  
 薬学部附属薬用植物園副園長 林 宏明 (再任)  
 (任期 全学教育推進機構長、PET・リニアック  
 先端医療センター長、薬学部附属薬用植物園園  
 長、薬学部附属薬用植物園副園長については、平  
 成29年4月1日から平成31年3月31日まで。教  
 養教育センター長、看護学部副学部長、学生副部  
 長、循環器医療センター長については、平成29  
 年4月1日から平成32年3月31日まで。)

### 2. 教員の人事について

医学部 心臓血管外科学講座 教授  
 金 一 (前 榊原記念病院心臓血管外科 部長)  
 医学部 臨床腫瘍学講座 教授  
 伊藤 薫樹 (前 医学部腫瘍内科学科 教授)  
 医学部 放射線医学講座 特任准教授  
 加藤 健一 (前 同講座 講師)  
 (発令年月日 平成29年4月1日付)

### 3. 職員の人事について

病院事務部次長  
 塚澤 仁敏 (前 総合移転計画事務室長)  
 総合移転計画事務室長  
 野中 尊史 (前 総合移転計画事務室長補佐)  
 医療福祉相談室長  
 近藤 昭恵 (前 医療福祉相談室事務係長)  
 人事職員課長  
 長岡 慶介 (前 人事職員課長補佐)  
 (発令年月日 平成29年4月1日付)

### 4. 組織規程等の一部改正について

- ①統合基礎講座法医学講座内に法歯学・災害口腔医学分野を新設し、現在の講座名を法科学講座、既存の法医学講座を法医学分野に改めること、また、歯学部口腔顎顔面再建学講座内に臨床病理学分野を設置するため、組織規程及び教育職員の定員に関する規程を一部改正することについて承認
- ②看護学部の設置、メンタルヘルスチェックの実施等により健康管理センターの業務が拡大するなか、同センターの運営を円滑に進めるため主任職を置くことができるようにしたいこと、また、健康管理センター規程との整合性を図るため組織規程を一部改正することについて承認

### 5. 附属病院新築工事の工事費について

## 編集委員コーナー NO.17

### 菅原 侑子 大学周辺のお店めぐり ～盛岡の味を守り続ける「梅月堂」～ presents

今回ご紹介するのは、本学附属病院から程近い本町通に店舗を構える「梅月堂」です。1912(大正元)年創業で盛岡の味を守り続ける老舗の和菓子店です。折々の節句に合わせて用意された餅菓子やだんごは、どこか懐かしく、保存料や添加物を一切使用していない優しい味わいが魅力です。

味噌っばさみ、すあま、あん玉、揚げまんじゅうなど数ある商品の中でも、盛岡の定番「お茶餅」を欠かすことは出来ません。その名から想像できる抹茶のような色合いではなく、五平餅のような独特なかたち。甘めの味付けを思いながら、一口頬張るときりっとした胡桃醤油の味。うちわを模したようなその形から、「うちわ餅」が訛り「お茶餅」と呼ばれるようになったとの謂れもあるようです。

3代目女将の菅野さんは、「まだ矢巾キャンパスができる前、医大の可愛い学生さん達が試験期間になると甘い物が食べたくなってとよく立ち寄ってくれました。先生達もよくいらしゃいますよ。」と教えてくれました。

春の暖かさが心地よいこの季節、美味しい餅菓子を片手にお花見を楽しんでみてはいかがでしょうか。



#### 「梅月堂」

電話：019-622-5042

住所：盛岡市本町通1-9-40

営業時間：10:00～18:00

定休日：日曜日





#### 《岩手医科大学報編集委員》

小川 彰	山尾 寿子
影山 雄太	菊池 初子
松政 正俊	安保 淳一
齋野 朝幸	佐々木忠司
成田 欣弥	熊谷 佑子
佐藤 仁	畠山 正充
藤本 康之	菅原 侑子
白石 博久	武藤千恵子
藤澤 美穂	高橋 慶
米澤 裕司	

#### 編集後記

先日、ニュースで「岩手山の雪解けが進み、盛岡市からは春を告げる「ワシ形」が確認できた。」と報じられていました。岩手山の山頂付近に翼を広げた格好の「ワシ形」が現れると、寒さ厳しい岩手の地にもやっと遅い春が訪れます。そんな鷲が姿を現した4月20日、本学創立120周年記念式典が挙行されました。そして、それに合わせて本学の歩みをまとめた「岩手医科大学 創立120周年記念誌」さらには「誠をつなぐ 岩手医科大学 さきがけの軌跡」が出版されました。本学の先人の偉業、そしてご尽力に敬意と感謝の念を込め、是非ご一読いただきたいと思います。

(編集委員 米澤 裕司)

#### 岩手医科大学報 第487号

発行年月日 平成29年4月30日

発行 学校法人岩手医科大学

編集委員長 小川 彰

編集 岩手医科大学報編集委員会

事務局 企画部 企画調整課

盛岡市内丸19-1

TEL. 019-651-5111 (内線7023)

FAX. 019-624-1231

E-mail: kikaku@j.iwate-med.ac.jp

印刷 河北印刷株式会社

盛岡市本町通2-8-7

TEL. 019-623-4256

E-mail: office@kahoku-ipm.jp

# スポット医学講座

緩和医療学科 特任教授 木村 祐輔



## 意思決定支援

緩和ケアは、がんをはじめとして、生命を脅かす疾患に直面している多くの患者さんやご家族の「つらさ」を和らげることで、生活の質や人生の質を維持し、高めることを目指した医療であり、治療全体を支える基盤となる概念です。よって、緩和ケアは特定の医療者が行う特別な医療ではなく、医療者全員がそれぞれに担うべきものと言うことができます。しかし、より専門的な緩和ケアの提供においてどの様な守備範囲を持ってケアを提供するかは、担当する緩和ケアチームのメンバー構成や姿勢によって大きく異なると考えます。当院の緩和ケアチームは、2007年に活動を開始して以来、今年でちょうど10年目を迎えました。専門性の高い医療者の方々に参加頂き、これまでに2200名を超える患者さんやご家族のサポートに当たってきました(図1)。我々緩和ケアチームの活動の中心が、がんの痛みなどの身体症状の緩和であることは勿論ですが、それ以外にも家族ケア、精神的サポート、地域連携など可能な限り守備範囲を広げ、少しでも患者さんの多様な「つらさ」を軽減できる様に努めてきました。この中で、私たちが大切にしている役割の一つに、意思決定支援があります。がん治療を受けている患者さんは、様々な状況や局面において、治療選択など

の判断を繰り返し求められます。多くの方は、主治医との話し合いを通じて十分納得されて治療に入りますが、時に、病態や治療に関する理解の難しさから、判断に戸惑い前に進めなくなる方や、漠然とした不安を抱きつつ治療を受けている方もいます。緩和ケアチームでは、こうした悩みや不安に多職種で対応し意思決定を支えることを目指しています。具体的には、自身の疾患の成り立ちや治療法の原理、治療効果と予想される副作用などを、なるべく分かりやすく説明し、不安をもたらしている原因を見つめ、時に抱いている誤解を解きつつ、治療法について一緒に考えます。また治療だけではありません。治療終了後に十分体調が回復していない時、あるいは徐々に体力が落ちていく様な状況において、どのような療養方法を選択するかという点に関しても、考えられる選択肢それぞれについて可能な限り情報を提示し、少しでも安心のもと判断して頂けるよう意思決定を支えます。我々が様々な意思決定をサポートさせて頂くことで、少しでも患者さんの「納得」が得られるお役に立てればと思っています。

皆さんの周りで、治療方法や療養に関して悩まれている方や迷われている方がいらっしゃいましたら、是非、私たち緩和ケアチームにご連絡ください。

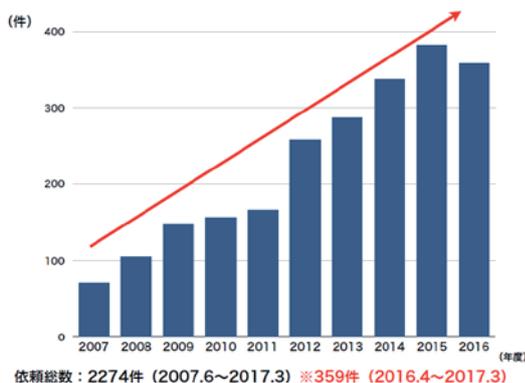


図1 意思決定支援依頼件数



緩和ケアチーム